

例会 NO 1 2 5

No 3- 39 1993. 5. 19 発行



1992~1993RIテーマ
まことの幸福は
人助けから
RI会長 クリア・ダクターマン

Tokyo
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第 125 回 例会 報告 (4/28)

司会 SAA 吉沢 洋景
☆点 鐘 会長 赤尾 恭雄
☆ロータリーソング 「奉仕の理想」
ソングリーダー SAA 足立潤三郎
☆お客様紹介 会長 赤尾 恭雄
鈴木 浩様 (暮らしの映像社)

☆ 会務報告 会長 赤尾 恭雄

* 会員増強の督励について
小倉ガバナー及び近藤地区会員増強委員長名の文書にて、本年度当初目標の地区内純増10%の会員増強には及ばないものの、是非とも年度末6000名の大台突破に最後の協力要請があった。(2月末現在、PB分区分を含み、5916名)

* 東京山の手RC幹事変更について
津村幹事がご逝去のため、4月19日より同クラブ幹事は西村 朋和氏に変更になった旨通知があった。

☆ 幹事報告 幹事 遠藤 二郎

* 東京稲城RC20周年記念式典の連絡。
当クラブの12日の例会を変更して13日全員登録とする。当日はよみうりランドホテル前の業務用入口から入場して下さい。その際入場用ワッペンをお渡しますのそれを付けて入場して下さい。

* 例会及び例会場臨時変更のおしらせ

- ・東京狛江多摩川RC (水曜日例会)
5/5→祝日休会
5/12→振替休会
5/13(木)→稲城RC20周年記念式典
6/2→振替休会
6/9→祝日休会
- ・東京府中RC (水曜日例会)
5/5→休会
5/12→夜間例会に変更
5/26→夜間例会に変更
- ・東京調布むらさきRC (木曜日例会)
5/13→稲城RC20周年記念式典
6/3→東京武蔵府中RC5周年記念式典

☆ 委員会報告

★ 親睦委員会 親睦委員 橋口 洋三

ニコニコBOX

松原 健 当分の間出席出来ず皆さんとお会いする事ができません。再度お会いするまで。

海野 栄一 吉尾さん先日はご用立て頂きありがとうございました。十一の利息分をニコニコします。

杉田 誠 鈴木様ようこそ、関岡さん大歓迎です。

横倉 舜三 バッチを忘れてしまいました。

足立潤三郎 関岡さんの入会を記念しまして、
バッチを忘れてしまいました。

宮本 誠 関岡さん入会おめでとうございます。
おかげで出席表の欄がいっぱいになりました。

北村 幸彦 鈴木さんようこそ、ご多忙の所
すみません。

伊神 稔 お客様ようこそ。

村上 久 関岡様ご入会おめでとうございます。

橋本 幸夫 関岡様ご入会おめでとうございます。
よろしくお祈りします。

吉沢 洋景 今日は司会役です。しっかりや
ります。

高野 範城 結婚祝いを頂きますので。

田中 實 先陣あらそいに負けました。

森田 舞子 久しぶりの雨でツツジがとても
あざやかですネ!

萩生田茂夫 しばらくご無沙汰しましたので。

佐伯 和廣 プロアマゴルフお疲れ様でした。

橋口 洋三 先日のプロ、アマゴルフで萩生
田、足立、菊地さんにお世話になったので。

以上合計 37,000円

※ 花見例会決算報告

親睦委員長 杉田 誠

※ 結婚記念日祝

大熊 将夫・富美子 高野 範城・慶子

※ 誕生日祝

小坂 一郎、永田 健作、北村 幸彦、
赤尾ヨシ子、橋口 芳江

〰〰〰 【新入会員入会式】 〰〰〰

増強委員長 海野 栄一

関岡 俊二会員の入会式が行われた。

- ・職業分類 幼稚園
- ・事業所 (学)高西寺学園 理事長
- ・推薦者 遠藤二郎

【ご挨拶】 関岡 俊二

皆さん初めまして。関岡と申します。遠藤
さんからご紹介がありましたように高西寺の
住職をしておりまして、又みゆき幼稚園の園
長もしております。今日こちらに来ましたら
表にハンを押すようにと言われ、全く幼稚園
と同じで給食もあるようですし、歌も歌うよ

うですし、保母さんが居ないだけであまり変
わらない、年齢的にちょっと年配の方がいる
かなという感じてした。

これも何かの縁ですし、特に吉尾さんの猛
アタックにあい陥落しました。私は大変忙し
いんですが、津守さんや橋本さんに遊んでい
るんなら、こちらに出られる筈だと言われま
した。どうかこれからもよろしくお祈り致し
ます。

★出席委員会 出席委員 城倉 正博 〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	45	36	1	8	82.22%
前回 訂正	44	37	6	1	97.73%

〔本日のメイクアップ〕

中山 恒武 (4/23 川崎西)

〔本日欠席届者〕

大松 誠二、 風間 茂穂、 小島周二郎
小城 章員、 若林 滋和、 平野 行廣

〔本日欠席者〕

飯島 裕美、 高村 弘

〔先週のメイクアップ〕

伊神 稔 (4/20 札幌南)

田中 實 (4/20 多摩)

萩生田茂夫 (4/26 日野)

城倉 正博 (4/26 日野)

隅 耕造 (4/26 西北)

猪股 末男 (4/27 多摩)

〰〰〰 【卓 話】 〰〰〰

『帰国報告』

野沢麻衣子さん

先日の花見例会の席
で簡単な帰国のご挨拶
を致しましたが、あれ
からすっかり日本の生
活に戻りまして、高校
も無事卒業し今は来年
の大学受験に向けて頑
張っているところです。



先日もお話した通り、帰って来たばかりの
頃は皆さんの顔が平べつたく見えたのが、す
っかり元に戻り、一年間が夢であったのでは

ないかと感じています。

まず私が行った所の説明をしますと、ミシガン州のイサカと言う町です。イサカは3000人の町で、東京から行った私には大変貴重な体験をさせて頂きました。田舎ですので車が無いと生活が出来ません。2つ目のホストファミリーはダウンタウンから少し離れた所に住んでおり、周りには何も無く平地の真ん中にポツンと家がある感じていた。イサカの町では、夜どこかで食事にも行こうかと言うと必ずマクドナルドに行きます。周りには何もないと言う事でマクドナルドが唯一皆さんで行く場所で、イサカのマクドナルドは町の人々のたむろする場所になっており、そこに行くとなら誰でも会えるという感じていた。朝には町の老人達の集会場の様で、そこでコーヒーを飲みながら情報交換をするのがイサカの習慣の様になっていました。

イサカのロータリークラブは毎週水曜日に例会があり、私は1年間、夏休みも参加していました。約50名の会員で女性も3人おります。私も日本についてのスピーチをさせて頂きました。イサカのロータリアンは私にとって皆友達の様にも仲良くして頂きました。帰る直前にはジャックと言う裁判官の方に、イサカの町の100年程歴史の有る裁判所を案内してもらったり、隣の刑務所の中まで案内されたり大変貴重な経験をさせて頂きました。又、学校でも帰国直前でしたが、日本についてのスピーチを行いました。

私の2番目のホストファミリーには小学生の弟が2人と妹がおりましたが、妹のクラスでスピーチを頼まれた時、生徒達はまだ5才ですので、日本の事を話しても理解出来ませんので、日本の「はし」の使い方を教えたり、簡単な日本語を、彼等に分かる様に教えたりしました。その中での事ですが、「Good morning」は「おはよう」と言う事を発音が同じ様な言葉として「オハイオ州」の「オハイオ」と教えました。これだと彼等もうまく発音出来、喜んでいましたが、私が帰る時になり1人の女の子が先生に「今日はすごく楽しかった」と言い、先生が「今日は何を習ったの」と聞くと、すかさず彼女は、

「シカゴ」と胸を張って答え、皆大笑いでした。この様にスピーチも大変楽しくやらせて頂きました。

ホストファミリーの話をするすると、私は1年間で2つの家族にお世話になりました。

最初はダウンタウンのそばで、お父さんはカイロプラクターと云う接骨師で、お母さんはその仕事の事務をされており、妹は14才と10才の2人でした。週末にはよく別荘に行きました。あちらでは田舎に住んでいるのですが、皆さんイサカよりもっと北の方に別荘を持っておりました。そこでゆっくりと週末を過ごすという生活が一般的の様でした。

この家族と6ヶ月間を過ごした訳ですが、ホストファミリーとの間では、誰が行っても何らかの問題が有る様です。私の場合はそれほど大きな問題ではありませんでしたが、その家庭がとても無口な家庭であった為に、親と子の会話が少ない為にお互いを理解するのに時間が掛かったと思います。この事で私自身学んだ事も多く、人間関係の難しさや「謙虚さの度合い」等を勉強させられました。その後、第2のホストファミリーの元で、私としては、又新しいスタートを切った訳です。そこには5才の女の子と8才と10才の男の子がおり、その家族は子供が小さい為か、皆で楽しんで生活しようと言う感じが強い家庭の様でした。わたしはも子供達とすぐ仲良くなりました。お父さんは歯科医で若い人だった為、私も話し易く、彼も私を大変可愛がってくれました。お母さんも大変宗教心の強い方でしたが、宗教の話やその他何でもお話し出来る、本当に良いお母さんでした。

私がこの家に移った時は学校の勉強がすごく忙しい時期と重なり、新しい家族と早く仲良くなりたいし、学校の勉強もしなくてはならず、一番大変な時でしたが、そんな時お母さんは、私を良く理解してくれ宿題を手伝ってくれたりしました。

学校は家から5分程の所でした。初めの頃は日本の学校とは全てが異なり、何でも新鮮に感じられました。日本の学校とすごく違うと思った事は、日本では授業と授業の間は余裕がありますが、米国ではたった4分しか

く、その間にクラスの移動があり、友達を作る余裕がなかなかありませんでした。又授業の中では、日本では先生の話が中心で生徒はノートをとるのに忙しい状態ですが、あちらでは、ティスカッションが主で、1人1人が自分の考えをしっかりと持っていないと授業には参加出来ないと言う形で、本当に為になる勉強だと思いました。クラブ活動も日本では3年間続ける訳ですが、あちらではシーズン毎になっており色々なスポーツにチャレンジする事が出来ました。

私が受けた科目は、政治と世界史、英文学、スペイン語とコンピュータでしたが、私にとって日本の政治もろくに知らないのに米国の政治を勉強して来ましたが、これは本当に難しかったです。

ここで私が、この1年間で最も素晴らしかった事についてお話ししたいと思います。それは、あちらに行っている間に色々な国から来ている外国からの留学生達との交流があったと言う事が大変素晴らしかったと思います。夏にロータリークラブで行ったバスツアーには43人の14ヶ国からの学生が参加し、彼等と米国の西部13州を廻って来ました。その時、西の大自然を見て米国は「何んて広いんだろう」の一言でした。又、3週間のバスツアーの最終日が、偶然米国の独立記念日に当り、町では花火を上げ記念日を祝っておりましたが、私達もその花火を見ながら皆で一緒に覚えたばかりの米国の歌を大声で歌っていました。この様に14ヶ国の人々が一つの所で一つの言葉で仲良く話し合え気持ちを一緒に出来る事は何と素晴らしい事かとつくづく感じました。今でも私は、たった3週間ではありましたが、一緒に過ごした人達と文通をしたり、今後もう一生付き合っていくと思いません。その後、夏の地区大会では、以前東京に1年間留学生として来ていたクリスに再会しました。クリスは皆様も良くご存知ですが、

1年間の日本生活で日本語がとても上手になり、私達は日本語で楽しく話をしました。

又、日本と云う国は世界の中で、きらわれていると云うか、あまり理解されていない為か、外国の人々から見るとあまり印象が良くない様に思いますが、私が一人の外国人と友達になり、写真やその他で本当の日本を紹介すると彼等は情報が少ない為に誤解している部分に分かり「君と友達になれて真の日本と云うものが理解出来て良かった」と皆んなが云ってくれました。この様に私達高校の留学生の力と云うものは小さなものですが、こうした若い交換留学生の力で世界を少しでも小さく出来たと云う事は私達にとって誇りに思える事です。この1年間をふり返って見て、行く前は留学と云うのは、米国に行って文化や習慣を学び又英語を学ぶことと思いましたが、それと同時にもっと素晴らしい事を体験し学べたと思っています。この1年間は本当に心のきれいな人々に沢山出会える事が出来、沢山の人に愛され、私も沢山の人を愛する事が出来たと思います。そして人間というものは、本当に素晴らしいものだと感じる事が出来ました。この先私は色々な事を経験すると思いますが、この宝物を大切にこれから頑張っていきたいと思っています。最後になりますが、いつも私を見守っていて下さいましたアドバイザーの風間さんをはじめとする東京多摩グリーンRCの皆様、本当に有難うございました。

◆◆◆第126回例会報告(5/13)◆◆◆

5/12(木)の第126回例会は翌13日(木) 稲城RC20周年記念式典に振替えられました。

当日は絶好の晴天に恵まれ、東京よみうりランドで、多数の会員が集まって記念式典が挙行されました。当クラブ員は全員登録し、午後1時から水中バレー、記念式典、懇親会に参加しました。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和彦・隅 耕造
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会場 多摩そごうアパルト7F サファイヤバンケットルーム

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30